

No	テーマ	内容	対象者			大学等名称	学部	氏名		問合せ先
			小学生	中学生	高校生					
1	テクノロジーの進化とアート・デザイン	時に進みすぎてしまうテクノロジーの進化とその課題に対し、デジタル化とネットワーク化が急速に進む今、アーティストやデザイナーがその課題の提起や解決のため取り組んできたさまざまな作品や活動を、実例を通して紹介していきます。	—	—	○	香川大学	創造工学部	教授	大場 晴夫	香川大学 地域連携推進課
2	デザイン経営について	経済産業省と特許庁が2018年に発表した、デザインを活用した経営手法である「デザイン経営」において、デザインの力をブランド戦略に、またイノベーション創出にどう取り入れることができるのか、講師のデザイナーとしての経験知とビジネス実践知から解説します。また、デザインの考え方や、思考が整理される過程を体験し、デザインと経営の関係性について理解を深めます。	—	—	○	香川大学	創造工学部	教授	石塚 昭彦	香川大学 地域連携推進課
3	パッケージデザインについて	この講義では、パッケージデザインが持つ「モノの魅力を伝える力」や「ブランドの顔」としての役割について学びます。実際にデザインした地域物産品のパッケージデザイン事例を中心に、デザインとブランディングを導入することでどのような変化が起きたのかについてお話しします。	—	—	○	香川大学	創造工学部	准教授	南 政宏	香川大学 地域連携推進課
4	アートプロジェクトについて	香川県は瀬戸内国際芸術祭等によってアート活動が盛んな地域です。日本全国でもさまざまなアートプロジェクトが開催され、その開催数の多さは世界から見ると日本特有の現象となっています。日本各地で展開される地域アートプロジェクトや海外の同様な事例の歴史や作品、アートと地域・社会のさまざまな関係性について紹介します。	—	—	○	香川大学	創造工学部	准教授	柴田 悠基	香川大学 地域連携推進課
5	演劇で培った表現力とコミュニケーション能力	最初に、体と声を使った簡単なアイスブレイクをします。リラックスした後、小グループに分かれて短いシーンを創作し、発表します。こうした演劇体験やグループワークを通して、表現力や主体性、コミュニケーションについて学びます。グループワークが主体の講義なので、クラス作りやアクティブラーニングの導入にも役立ちます。	—	—	○	四国学院大学	社会学部	教授	西村 和宏	四国学院大学 入試課
6	即興演劇を活用した表現する力を育てるワークショップ	即興演劇とは、脚本も、設定も、役も何も決まっていな中で、その場に出てきたアイデアを受け容れ合い、ふくらましながら、物語をつくり、場面を演じながらシーンをつくっていく演劇です。即興演劇の基本方針は、「自由と協調」。即興演劇を体験することで、自由な創造力と、相手と協調することを学びます。	—	—	○	四国学院大学	社会学部	教授	仙石 桂子	四国学院大学 入試課

7	実習におけるコミュニケーション技術を活用したワークショップ	福祉科での実習に行く前に身につけておきたいこと、行った後の課題について、コミュニケーション技術を基にロールプレイングを活用したワークショップを行います。演劇の専門家として、利用者、実習生、職員の立場に寄り添い、アドバイスをします。	-	-	○	四国学院大学	社会学部	教授	仙石 桂子	四国学院大学 入試課
8	動きの中で学ぶこと	高度に進化したITによってヴァーチャルな世界が拡大した現代に生きる若者たちに、コンテンポラリー・ダンスという生身の身体を使った芸術を通して、身体感覚やコミュニケーション能力を回復させる講義です。芸術を活用した講義を行うことで、自信が養われ、批評的な思考力や規律を重んじる姿勢が生まれます。	-	-	○	四国学院大学	社会学部	教授	阪本 麻郁	四国学院大学 入試課
9	声楽公開レッスン「心に響く歌声」	快い発音と発声、美しい旋律の表現と語りかけの手法を学んでいただき、聞き手はもちろんのこと歌手自らの心にも力強く響く、説得力豊かな演奏を追求します。	-	-	○	高松大学	発達科学部	准教授	水嶋育	高松大学・高松短期大学 入学センター
10	DTMとMIDIパッドを使った音楽づくり	音楽製作ソフトであるDTMソフトと、電子機器であるMIDIパッドを使用し、自由な発想で音楽づくりを楽しみます。電子音や身の回りにある音などに興味を持ち、音楽を実際に作ることで音楽の世界をより広げられればと思っています。	○	○	○	高松大学	発達科学部	助教	南野晋吾	高松大学・高松短期大学 入学センター
11	夢中になって取り組む絵の具遊び・技法遊び	ビー玉転がしやスクラッチアートなど、絵の具遊び・技法遊びに取り組む2～5歳児の様子や作品を紹介するとともに、簡単な作品づくりを行います。幼児から高校生・大人まで楽しく取り組むことができます。	○	○	○	高松大学	発達科学部	准教授	佐々木啓祐	高松大学・高松短期大学 入学センター
12	名画鑑賞「日本や西洋の名画の魅力を感じ取ろう！」	1枚の絵を見て感じたことを発表し合ったり、簡単なワークをしたりしながら、名画に隠された魅力を発見していく鑑賞の授業です。小学生から高校生・大人まで、分かりやすく楽しく取り組むことができます。鑑賞作品は、複数の中から希望に応じます。	○	○	○	高松大学	発達科学部	准教授	佐々木啓祐	高松大学・高松短期大学 入学センター

13	芸術とは何か？20,000年前後期旧石器時代のクロマニヨン人は、なぜ真っ暗な洞窟の中でいろいろな絵を描いたのか？	芸術の中でも美術に特化して、ラスコーの洞窟壁画(20000年前～)やアルタミラの洞窟壁画(18000年前～)等を紹介しします。そして、その当時生活していたクロマニヨン人が、真っ暗な洞窟の中で、壁や天井に絵を描いている姿を想像しながら、芸術とは何かを考えていきます。	○	○	○	高松短期大学	保育学科	教授	辻野栄一	高松大学・高松短期大学 入学センター
14	芸術は理解するものではなく、感じて楽しむもの～抽象絵画に挑戦！～	芸術作品をみてよく「分からない」という人がいます。いつから芸術を理解しなければいけなくなったのでしょうか？西洋美術史を辿りながら抽象絵画や現代美術が現れた経緯を解説した後、実際にクレヨンを使って抽象絵画を描いてみましょう！	○	○	○	高松短期大学	保育学科	教授	辻野栄一	高松大学・高松短期大学 入学センター
15	漆芸を通して、香川県を知る	漆芸は日本が世界に誇る伝統文化の一つです。香川県がなぜ「漆芸王国」と呼ばれるほど漆が盛んだったのか、多くの作品を紹介しながら分かりやすくお話しいたします。	—	○	○	高松短期大学	ビジネスデザイン学科	講師	佐々木千嘉	高松大学・高松短期大学 入学センター
16	ローカルから世界へ～デザイン・アートで発信する～	地方から世界へ発信できる時代です。デザイン・アートにおける世界をつなぐ力を紹介します。様々な美術文化や新しい発信力を知ることで、自分たちが暮らす地域、そして世界へどのように貢献できるのかを考えます。	—	○	○	香川短期大学	経営情報・デザイン学科 デザインアートコース	教授 教授	濱野暢子 大嶋寛子	香川短期大学入試センター
17	デッサンワークショップ	主に美術の授業が開講されていない高等学校を対象に行います。ものの見方とデッサンの基礎を指導します。	—	—	○	香川短期大学	経営情報・デザイン学科 デザインアートコース	教授 教授	濱野暢子 大嶋寛子	香川短期大学入試センター